

【競技上の注意】

審判長

本大会は、現行の日本卓球ルールに準じて行います。

競技者は、スポーツマンシップに則り、ルールを守り、正々堂々とプレイしてください。

1 ラケット・ラバーについて

- ・ J T T A A のロゴのないラケットは、開会式前に審判長の許可を得てください。
- ・ J T T A A または I T T F のロゴのないラバーは、使用できません
- ・ 破損があるラバーは使用できません。
(周囲から 2・3 mm の削れは、可としますが、ボールが当たる箇所は不可とする)
(ラバーの剥がれおよび表・粒高のラバーでは、粒の欠けも不可です)

2 試合方法について

- ・ 試合は、予選リーグ→準決勝トーナメント→決勝リーグになります。
- ・ 全て試合を 1 1 本 5 ゲームマッチでおこないます。

3 サービスについて

- ・ サービスは、手のひらを開き、ボールをのせて制止させ、16 c m 以上ほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打球します。
- ・ その間、ボールはエンドライン後方で、台の高さより上になければなりません。
- ・ ボールが投げ上げられてから打球までの間、ボールをフリーハンドや肩などで隠す動作をしてはいけません。(巻き込みサービスは要注意です)

※注記

正規のルールを守らずに、威力のあるサービスを出したときは失点にします。
競技開始前に、バンビの男女には説明をしますので選手・保護者は集合ください。
カブ・ホープスの選手については、開会式で説明します。

4 競技用服装について

- ・ J T T A が公認したもの(赤ワッペン)を着用して下さい。
- ・ ゼッケンは、2026年度日本卓球協会指定のものを使用してください。

5 タイムアウト・アドバイス・抗議について

- ・ 抗議は、競技者本人のみが行うことができます。
- ・ タイムアウトは、決勝リーグのみ適応します。
- ・ アドバイスは、1分以内をお願いします。

6 バットマナーについて

- ・ 競技者またはアドバイザーは、相手競技者に対し、不当な影響を与えたり、ゲームの評判を落とすような言動を行った場合は、バットマナーとして判断され、相手へのポイント、退場、失格等のペナルティが科せられます。
- ・ スロープレイやコールされてもコートに入らないなどもバットマナーと判断されることがあります。競技のスピードアップに協力ください。

7 今大会では、サービス違反・マナー違反等で注意(イエローカードの提示等)後も改善されない場合(2回目以降)は、失点または失格等になります。

大会の進行について

すべての種目を予選リーグ方式で行います。

1 予選リーグの進行について

- (1) 1試合ごとに試合記録を本部席に届けてください。
試合をした2人で届けます。
- (2) リーグの1番上の選手（保護者）に進行の責任者をお願いします。
ア 試合順序及び審判を確認して、試合を進行する。
イ 試合ごとに記録を確認して、試合をした2名を進行席に行かせる。
ウ 審判が不足した場合は本部より補助します。
- (3) すべての試合が終了したら、全選手で順位の確認をさせる。
同じ勝敗の選手が2名以上出た場合は、本部進行席に確認する。
- (4) 審判は相互審判になります。
個人で参加の選手においても、審判員を必ず用意して下さい。

2 決勝リーグについて

- (1) HB、HG、KGは予選リーグ後、トーナメントでベスト4を決定します。
KBは予選リーグ上位2名ずつでベスト4と致します。

3 決勝リーグ（順位リーグ）について

- (1) 試合進行については、予選リーグと基本的に同じです。
- (2) 同じクラブの選手が2名以上いた場合は、最優先で試合を行います。
- (3) カブ男子・バンビ男子の決勝リーグ（順位リーグ）は予選リーグの試合結果を持ち越します。
- (4) 審判は、相互審判（同じクラブの選手または保護者）をお願いいたします。

4 表彰・写真撮影について

ベスト4の選手は、必ず表彰式に参加して下さい。
県代表となられた選手は各カテゴリー毎に写真撮影を行います。
閉会式の開始時間が、4時を過ぎる場合は表彰者と近郊のクラブで行います。